



令和5年8月号

## 「継続は力なり」

今年も、夏休み前後で学校や関係機関との連携支援会議が多く行われており、私も参加をする機会がありました。支援会議はその子の関わる機関が集まり、様々な議題で情報交換や話し合いが行われます。定期的に開催がされるケースもあり、4~5年会議が続いているお子さんもいらっしゃいます。

支援会議の目的として、大きく4つあります。

- ① 支援者同士が顔の見える関係性になる⇒今後の連携がしやすくなります。
- ② それぞれの場所での子どもの姿の共有⇒同じ子もいれば、全然違う姿を見せる子も…
- ③ 子どもの強み（ストレンクス）や課題となっている部分に対して、それぞれがどの様にアプローチをして行くのか⇒手段や方法を合わせる事もあれば、あえて違うやり方をする事もあります。
- ④ その子の成育歴及び将来像（5年後・10年後の姿）の確認。ある程度の方向性を合わせて行く。

①～③まではどの支援会議でも一般的に行われていく流れになりますが、④に関しては意識して議題に組み込まないと行われぬ事が多いです。支援会議のほとんどが学校や相談支援専門員が主催となり進めて行くのですが、私が会議の進行をするケースや事前に打ち合わせが出来る時には、④の部分の議題に入れてもらう様にしています。

理由としては、子どもを取り巻く環境（主に人）は年度毎に変わって行くケースがほとんどです。学校や支援機関でも資料としての情報は引き継がれていても、成育歴がエピソードとして伝えられる事はなかなかありません。また、子どもの将来像に関しても同様に、支援者が変わるたびにイメージの共有が必要になってきます。

私たち福祉の役割はその部分が大きいのだと考えています。支援機関が増えたり、年度で担任の先生が変わったり、就学・進学に伴って学校が変わったりと、子どもの生活の中では様々な変化が訪れます。その時に、子どもの情報を引継ぎながら、子どもの将来像を共有する事で、支援に一貫性を持って継続させる事が大切です。

会議の1番の目的は「子どもが大人になった時にどの様な姿になってもらいたいのか」を確認・共有をする事です。その上で、その目的を達成する為に今何をするのか？その子の強みや課題や困り感（本人及び周りの人たち）にどう向き合っていくのが、みんなで話し合われると良いなと思ひながら会議に臨んでいます。

児童通所課 嵯峨憲司



# 7月活動報告

## 祝日プログラム



7月17日(月)の祝日プログラムは八王子市にある「コミカミノルタサイエンスドーム」に行きました。プラネタリウムは機械トラブルで見れませんでした。 「遊びカガク」では様々な科学体験を楽しむ事が出来、ISSで行われているミッションをモデルとしたシミュレーションなども体験することが出来ました。

## 曜日別プログラム



### 情報機器プログラム

パソコンを使用して七夕短冊を作成しました。出来た短冊はMJ内に飾りました。



### 調理プログラム

電子レンジを使ってチョコカップケーキ、ポップコーンなどを作りました。



### 受験対策プログラム

7月はリフレーミング(伝え方)について行いました。



### 作業プログラム

ぱれっとの夏祭りです。使う輪っかを作り、ぱれっとさんにお届けしました。

## ☆お知らせ☆

- ・ **8月25(金)** より通常時間の開所となります。  
1部 15:30~18:00 2部 18:00~20:00
- ・ 新システムHUGへのログインのご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。HUGのログインが難しい場合には、いつでもご連絡ください。